

浜松市デジタル・スマートシティ 官民連携プラットフォーム 第2回運営委員会

令和6年11月15日(金)





次第

1. 開会あいさつ

2. 今年度の取組報告

3. 浜松市デジタル・スマートシティ構想の改定案

4. 意見交換

テーマ：プラットフォームの活性化と分野間連携の促進

開会あいさつ

委員長（浜松市副市長） 山名 裕



会議進行上のお願い

1. 会議参加時

- 基本的に「ビデオはON」、「音声はOFF（ミュート）」

2. ご発言時

- **オンラインでの参加者**

「音声をミュート解除」し、最初にお名前をお伝えいただいたのちにご発言ください。

- **現地参加者**

テーブルのマイクにてご発言ください。

デジタル・スマートシティに関する今年度の取組



令和6年度の各種取組スケジュール



令和6年度の各種取組スケジュール

6

項目		2024年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
I デジタル・スマートシティ	官民連携PF運営委員会 会員との連携			●第1回運営委員会					●第2回運営委員会			第3回運営委員会●	
	官民連携PF ピッチ・ウェビナー						●ソリューションピッチ ●ウェビナーⅠ			●ウェビナーⅡ		●ウェビナーⅢ	
	データ連携基盤 運用機能追加												
	データ連携基盤の 活用促進			参加募集									▲成果 発表会
	MONTH事業								●オンラインフォーラム				
	Well-Being アワード												
	地域共助型 デジタル技術 活用支援事業												
	庁内連携			★第1回本部会議					★第2回本部会議			★第3回本部会議	
	OASIS (Well-Beingに基づく 政策デザイン研修)			★第1回講義	★第2回講義	★第3回講義	★第4回講義	★第5回講義		★市長報告会			
II MaaS	モビリティサービス 推進コンソーシアム			●第1回会議					●オンラインセミナー	●ワークショップ			第2回会議●
	ドローン利活用 推進部会				●第1回部会			●第2回部会					●第3回部会

令和6年度の各種取組スケジュール

7

項目		2024年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
Ⅲ デジタル・ガバメント	フロントヤード・バックヤード改革	行政手続きのオンライン利用率・満足度の向上											
		キャッシュレス決済の運用											
		書かない窓口システム運用・アジャイル改善											
		フロントヤード改革プロジェクトチームの発足、継続的な改善の取り組みと拡大の検討											
	庁内データ分析基盤	庁内データ分析基盤実証環境の構築											
		運用											
	デジタルを活用した業務改革	データ利活用・分析人材育成											
		重点取組業務の選定・改革											
	DX人材育成・活用	各所属における業務改革（重点取組業務以外の業務）											
		DXメンター育成・活用											
Ⅳ デジタル・マーケティング	AI等先進技術活用	AI議事録の運用、生成AIの活用等											
		LTEモデルChromebookを活用したテレワークの実証実験											
	テレワーク等働き方改革の推進	月1の定例相談会											
		★合同説明会											
	相談支援	★ワークショップ											
	人材育成	セミナー											

条例・各種計画

- ・浜松市デジタルを活用したまちづくり推進条例
- ・浜松市デジタル・スマートシティ構想
- ・浜松市版MaaS構想

- ・浜松市デジタル・マーケティング戦略
- ・浜松市DX推進計画

データ連携基盤に係る取組



Hamamatsu ORI-Projectの概要

- ・ 浜松市データ連携基盤を活用した新たなサービスやアプリケーションの創出を目指す取組（サービスの 構想及びその検証）に対し、浜松市や連携支援団体が総合的な支援を行う
- ・ 令和2年度からスタートし、令和5年度までに23件の実証実験を支援

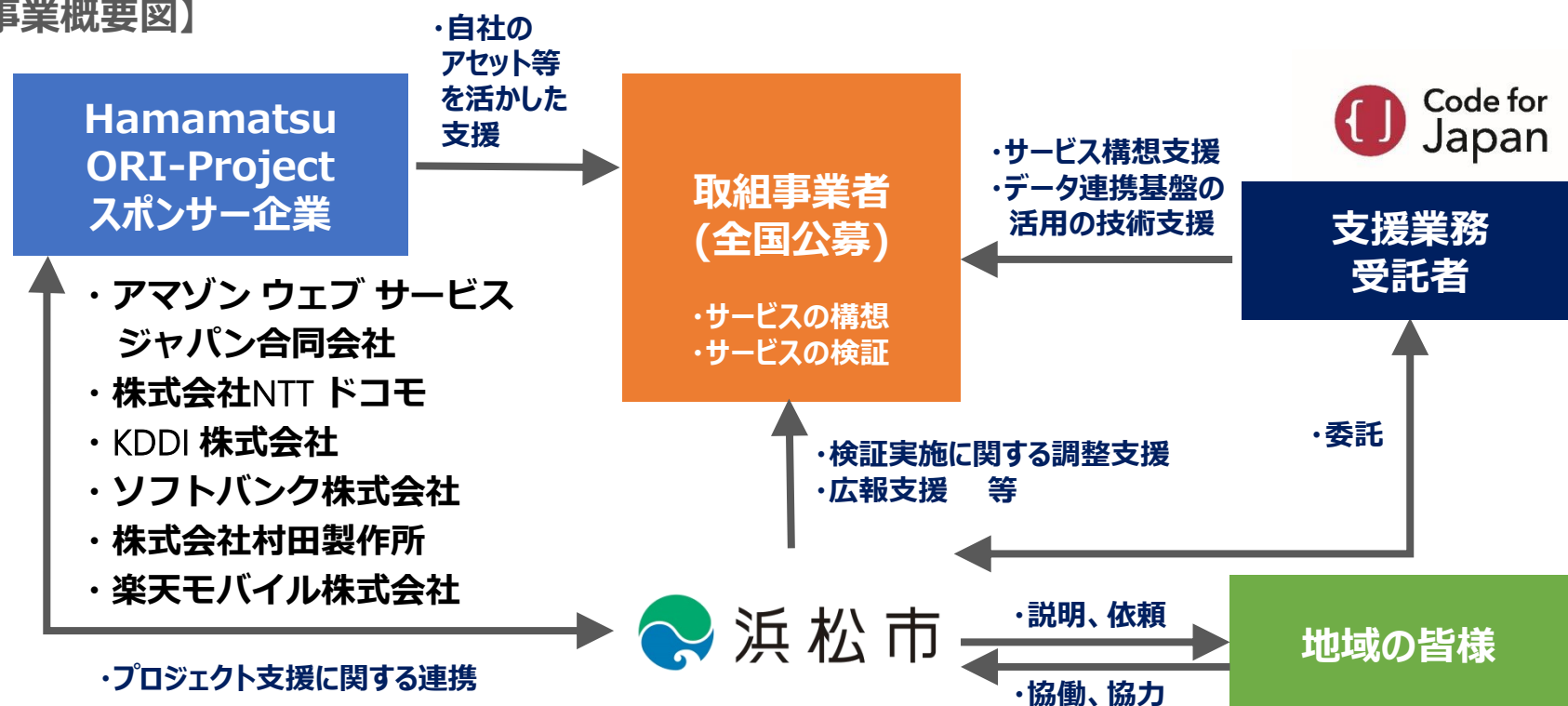
Hamamatsu ORI-Project (Hamamatsu Open Regional Innovation Project)

正式名称：浜松市データ連携基盤活用モデル事例創出事業

事業の目的

データ連携基盤を有効活用した新たなサービスやアプリケーションの官民共創

【事業概要図】





今年度も昨年度と同様に、次の3つの取組を並行して実施

Hamamatsu ORI-Project

1 地域課題解決型

浜松市データ連携基盤を活用した地域課題の解決策の検証

浜松市の各部門から提示された課題テーマについて、浜松市データ連携基盤を活用して解決を図るプロジェクトを公募し、有望案件について浜松市内における実証実験を支援します。

今年度は、データ連携基盤に既に接続されているデータを活用する案件に限り、具体的な課題テーマに対応していなくてもエントリー可能とする「接続データ活用枠」を設けます。

2 スポンサー協業型

浜松市データ連携基盤を活用したスポンサー企業との協業促進

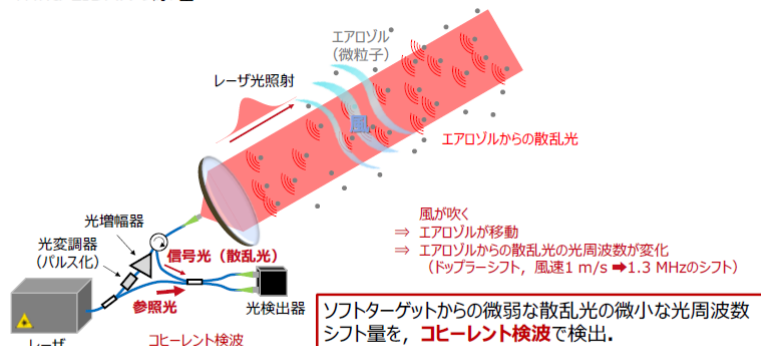
Hamamatsu ORI-Project スポンサー企業の提示する浜松市データ連携基盤を活用する協業テーマについて対応可能な事業者を公募し、スポンサー企業と連携して実証実験を支援します。

3 “データ・フュージョン・キャンプ2024”の実施

浜松市内でのハッカソン、データ連携基盤のオンライン研修や開発されたプロトタイプの継続フォローアップ等を組み合わせた継続的なサービス開発実践プログラムを実施します。

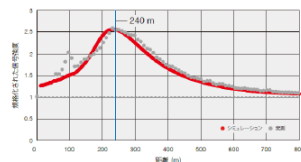
浜松ホトニクス(株)

Wind LIDARの原理

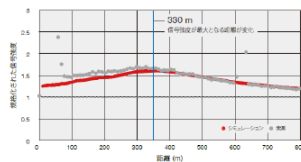


大気中をただようエアロゾルで反射されたレーザー光（極微弱な光）を検出することで任意の場所の風速や風向を計測する

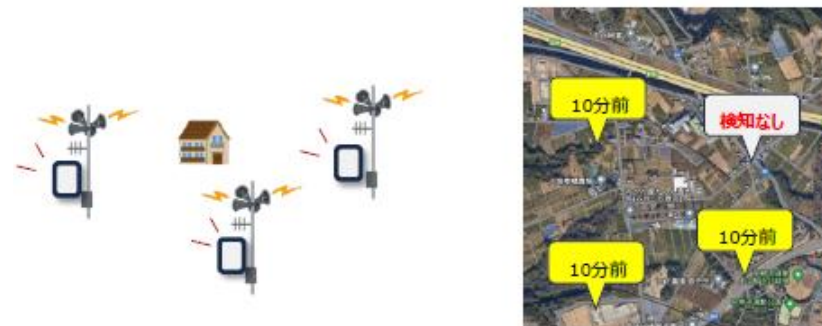
測定距離と信号強度の関係



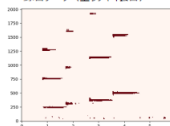
測定距離と信号強度の関係 (300 m) (400 m) (500 m) (600 m) (700 m) (800 m)



(株)ミライエ

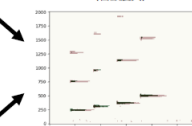


録音データ（上りチャイム音）

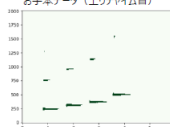


1. 上りチャイム同士の合致度判定

重ね合わせ結果をAIで判定（合致度大）



お手本データ（上りチャイム音）



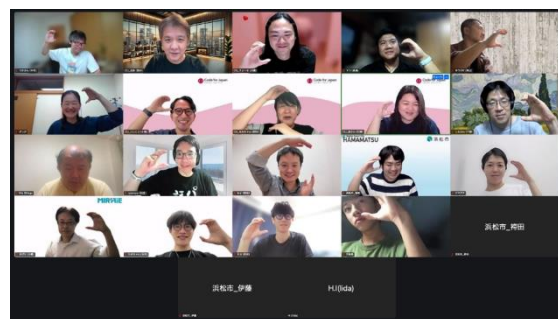
特許出願中
特願2024-103366

名称	レーザセンシング技術を用いたドローン航路上の風況計測
対応テーマ	ドローン航路上の安全飛行に資する情報収集
概要	ドローンの運航に利用される空域におけるリアルタイムな風況計測の実現を目指し、天竜川水系での Wind LIDAR Light Detection And Rangingの検証を行う。屋外環境で計測可能な計測システムを準備し、現地にてドローン航路上の風向・風速データの取得までを目標とする。

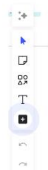
名称	AIを活用したスピーカー故障検知システム
対応テーマ	同報無線の子局の吹鳴状況の集約
概要	防災放送が流れると自動録音し、「下りチャイム」等のメロディが含まれるかを自動検知し、クラウドに通知する「スピーカー故障検知装置」を市内に設置する。浜松市データ連携基盤には、スピーカーごとの位置情報、時刻や吹鳴状況を保存し、スピーカー毎の吹鳴状況を地図や時系列で確認できるようにする。

“データ・フュージョン・キャンプ2024”の実績①

- 10月19日（土）、アイデアソンをオンラインで開催し、アイデア創発とチーム組成を実施
- 参加者は、専用のSLACKチャンネルに参加し、データ連携基盤の研修動画を各自で視聴
- 11月2日（土）、浜松市中央区のCo-startup Space & Community FUSEを会場として、ハッカソンを開催



miro 20241019 DFC



アイデアソンの様子



研修動画（全6回）
（YouTubeに公開）



ハッカソンの様子



4つのチームがデータ連携基盤を活用したサービスのプロトタイプを開発

nigemaika製作委員会

データ連携基盤から取得した雨量計や河川水位計の情報を元に、洪水等の危険箇所に居住するサービス利用者に自動で架電し、避難を呼びかけるサービス“にげまいか”

TEAM AMEOTOKO

オープンデータやイベント紹介サイト等からスクレイピングした情報をAIでパラメータ化し、収集したデータをデータ連携基盤に格納するとともに、おすすめのイベントを画像や音声を変えて紹介するサービス“Event Aider（イベント エイダー）”

●ないすとう みーちゅー！

データ連携基盤の笑顔データをマップ上に表示し、こういった活動、主催者、場所によって人々がつながり、笑顔が増加しているかを可視化するサービス“Meetyou”

●GOKAN

データ連携基盤のデータ（笑顔データ、冠水データ）や市のオープンデータ等を活用し、LINEを介して市内のおでかけ先やイベントを提案してくれるサービス“どこ行く”

浜松市データ連携基盤活用サービス実装支援補助金



- 過年度のHamamatsu ORI-Projectの支援案件など、データ連携基盤を活用したサービスの地域実装に向けた取組に対する補助制度
- 令和4年度から開始し、令和5年度までに7件の活用実績

目 的

本市においてデータ連携基盤を活用したサービスの実装（調査や実証実験にとどまらず、継続的なサービス提供を開始すること）に向けて取り組む民間企業を支援し、データ連携基盤を有効活用した先端サービスの実装により本市の課題解決や市民QoL（生活の質）の向上を図るとともに、本市発の新たなイノベーションの創出を目指す。

事業概要

- データ連携基盤を活用したサービスを本市において早期に実装することを目指して取組を行う事業者に対し、その取組に必要な資機材のリース費用、取組の協力者への謝金、国内の交通費等を補助する「浜松市データ連携基盤活用サービス実装支援補助金」を創設し、運用する。
- 補助金額は、補助上限額200万円/件、補助率2/3以内。

プライムバリュー(株)



事業名称

浜松市データ連携基盤を活用した備蓄品の管理及び利活用事業

事業概要

令和5年度Hamamatsu ORI-Project（地域課題解決型）により市内での実証実験を支援したサービスについて、本市において実装を図る。

登録した避難所の備蓄品に対し、QRコード付きの帳票を生成でき、QRコードを読み込んで現地で消費登録を行えるようにすることで、備蓄品の消費登録管理をリアルタイムに行うことを可能とするツール「B-order」について、浜松市データ連携基盤と接続することにより、平時のローリングストックの適正化や災害時の物資消費の把握・共有に生かす。

また、避難所ごとの避難人数を本システムを通じて収集し、浜松市データ連携基盤に連携することを可能とする予定である。

令和6年度 浜松デジタル・スマートシティ MONTH





MONTH事業の目的

- デジタル・スマートシティ の理念や趣旨の **普及・浸透** を図る。
- 先進技術を活用したサービス等に、**市民** の方が **触れる機会** を設けることにより、
「デジタル・スマートシティ浜松」推進の **機運** を **醸成** する。

実施期間

令和6年 **10** 月

※ 国デジタルの日は、令和6年10月6日、7日

実施内容

- 冠事業** の実施
- オンラインフォーラム** を **10** 月 **22** 日に開催
- 令和5年度創設 **「はままつWell-Beingアワード」** 結果発表及び受賞式

今年度も企業や各種団体が実施するイベントやセミナーを冠事業として募集

事業目的

市民の皆様に“**デジタル・スマートシティ浜松**”を身近に感じていただき、一緒に浜松の未来を考えていく機会とする。

募集事業

以下のすべてに該当する事業

- **デジタル・スマートシティに関連したイベントやセミナー**
- 広く一般の参加を募る（または参加できる）事業
- **令和6年10月**に行われる事業
- **浜松市内**で行われる事業
- 企業・団体（団体としての規約を有するもの）が行う事業

募集

スケジュール

- 募集期間 7月～8月上旬
- 事業審査 8月
- 事業周知 9月～



16事業を令和6年度冠事業として認定しました！

No	主催	イベント・セミナー名
1	浜松商工会議所	DX経営塾 -Season3-
2	浜松商工会議所	浜松商工会議所パソコン教室「無料体験&教室見学会」
3	浜松市（東行政センター）	「東地域・家康公ゆかりの里」推進事業 梓澤要氏歴史講演会（動画配信）
4	浜松市（浜北地域活動・研修センター）	パソコン自習支援 & I T 交流
5	浜松市（創造都市・文化振興課）、浜松市教育委員会	まちなかコンサート開催事業 （プロムナードコンサート ※無料ライブ配信）
6	浜松商工会議所	ホームページ作成「ウェブサポ」セミナー
7	浜松市（産業振興課）	女性のためのデジタル講座10日間
8	浜松市防災学習センター	防災デジタル教室2024～親子で挑戦！防災まちあるき～
9	浜松市（デジタル・スマートシティ推進課）	浜松で地域課題解決やらまいか！データ・フュージョン・キャンプ2024～浜松市データ連携基盤を活用したサービス開発実践プログラム～
10	はままつママゼミ事務局 （認定NPO法人はままつ子育てネットワーク ぴっぴ）	スクラッチジュニアで学ぶ親子プログラミング体験！
11	浜松商工会議所	ITなんでも相談会～DX時代にITを点検しよう！～
12	浜松市立勤労青少年ホーム（アイミティ浜松）	中高年のためのスマホ教室
13	浜松市（南行政センター）	A R（拡張現実）防災体験 中央区地域力向上事業（南地域）中田島オータムフェスタ2024
14	一般社団法人ジュニアプログラミング推進機構	全国小学生プログラミング大会 ゼロワンランドスラム
15	公益財団法人 浜松地域イノベーション推進機構	第3回 ものづくり企業向け デジタル経営セミナーin浜松
16	株式会社静岡新聞社・静岡放送株式会社	静岡新聞SBS 地域まるとDXセミナー



テーマ 「まち・ひと・しごと」の創生とデジタル・スマートシティ

開催日 令和6年10月22日（火） 15時15分～17時15分

参加申込数 132名（市外申込数：91名、PF非会員申込数：117名）

プログラム

■ 基調講演

テーマ：行政×テクノロジー

登壇者：合同会社機械経営 代表 安野貴博

■ セッション1

テーマ：産学官金で連携したデジタル・スマートシティの推進

登壇者：IDEAPOST株式会社 代表取締役社長 平山雄太、浜松市フェロー 東博暢

■ セッション2

テーマ：関係人口によるデジタル・スマートシティの推進

登壇者：株式会社ソトコト・ネットワーク執行役員 ソトコト編集長 指出一正、浜松市フェロー 関治之

■ パネルディスカッション

テーマ：「まち・ひと・しごと」の創生とデジタル・スマートシティ

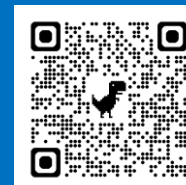
モデレーター：浜松市フェロー 東博暢、浜松市フェロー 西村真里子

パネリスト：浜松市長 中野祐介、浜松市フェロー 関治之、浜松市フェロー 南雲岳彦

IDEAPOST株式会社 代表取締役社長 平山雄太

HDSC MONTHサイトで
アーカイブ公開中！

<https://www.month.hdsc.city/forum2024>



ソリューションピッチ&ミートアップイベント



ソリューションピッチ&ミートアップイベント（交流会）

9/10（火）、PF会員間の連携促進等を目的に、ミートアップイベントを開催

事業目的

官民連携による地域課題の解決や、官民連携プラットフォーム会員間の連携促進

ピッチ 登壇者 ・ テーマ

ノバルス株式会社

みまもり電池

DP SIM Support

薬局の無い町に処方箋を届ける

西日本電信電話株式会社

AIやSNS等の先進的テクノロジーを活用した道路保全業務の包括的な民間委託

ローランド ディー.ジー.株式会社

デジタルモノづくり体験型コンテンツ

ソフトバンク株式会社

人流サービスを活用した災害対策

株式会社フォレストシー

奥山・中山間地域でも繋がる自営のIoT通信インフラを活用し、地域の各種対策をスマート化



Well-Beingに係る取組



出前講座（ウェルビーイング）

市民の皆さんとともにWell-Beingを踏まえたまちづくりを考える機会を創出

出前講座

講座：デジタル・スマートシティって何？～デジタルで“繋がる未来”を共創～

- 「デジタル・スマートシティ」って何？
- デジタル活用で私たちの生活はどう変わるの？
- 地域幸福度（Well-Being）指標から見た浜松市の特徴**

講座実績

- ① 6月13日（木）市協働センター アクティブ・シニア講座の一環で実施
- ② 11月 6日（水）浜松市教育研究会 部会研修会の一環で実施
- ③ 11月18日（月）市内企業にて実施

地域幸福度
Well-Being 指標

ダッシュボード 指標について知る 使いこなす 個別調査をする

ログイン

地域幸福度（Well-Being）指標の活用

人々の『心ゆたかな暮らし』へ。

地域幸福度（Well-Being）指標とは、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感（Well-being）」を数値化・可視化する指標です。

Well-Being指標の活用へ4つのAction

1.ダッシュボードを見る

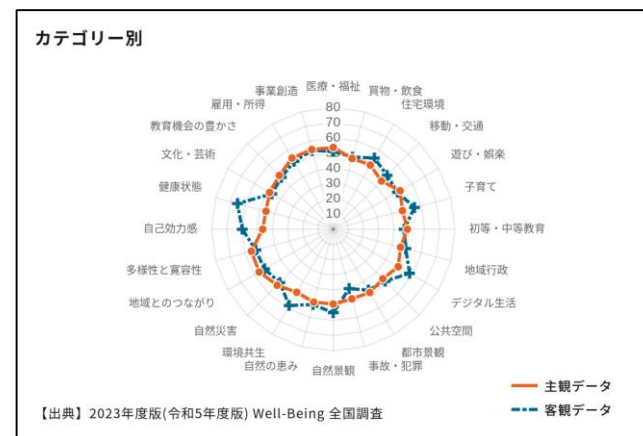
2.指標について知る

3.指標を使いこなす

4.個別調査をする

↑

FAQ





はままつWell-Beingアワード2024

浜松市のWell-Being向上に資する企業・団体のサービスや取組を表彰

募集対象

企業や団体の**Well-Beingに関する取組を顕彰**し、もって企業や団体の取組を促進することで、**浜松市民の幸福感向上**を図る

表彰の種類

はままつWell-Beingインパクト賞

浜松市民の幸福感がどの程度向上するか、地域幸福度(Well-Being)指標や企業・団体独自の指標（アンケート等）を用いて測定されており、地域（浜松市）の幸福感向上への波及効果が認められる取組やサービスのうち優れたもの

はままつWell-Beingデザイン賞

浜松市民の幸福感向上に良い影響をもたらすことが期待される取組やサービスのうち優れたもの

事業 スケジュール

募集期間	5月31日～8月20日
選考	9月
表彰式	10月22日

はままつWell-Beingアワード2024

はままつWell-Beingアワード2024受賞者

■ はままつWell-Beingインパクト賞 1件

企業・団体名	取り組み名
株式会社JX通信社	FASTALERTとNewsDigestを活用した市民参加によるリスク発生情報のリアルタイム収集・発信体制の強化

■ はままつWell-Beingデザイン賞 3件

企業・団体名	取り組み名
株式会社杏林堂薬局	市民向け秋の大運動会
浜松磐田信用金庫	金融教育（お金の話・ビジネスマナー講座）エシカル消費
株式会社RAMP	IT特化型・就労移行支援事業所【就労移行ITスクール浜松】



はままつWell-Beingアワード2024表彰式の様子

市職員向けWell-Being人材育成プログラム（OASIS）

市民の幸福感や生活満足度を高めるための政策立案手法等を学ぶ

概要

- 目 的** ウェルビーイングの概念や指標の測定方法の理解し、ロジックツリー等を使って
市民の幸福感や生活満足度を高めるための政策をデザインできる人材の育成
- 内 容** 全6回のプログラム、プログラム実施後の市長への発表を実施予定
- 講 師** （一社）スマートシティ・インスティテュート専務理事、浜松市F10- 南雲岳彦 氏
- 受講者** **計13所属**
「こども・子育て世代のWell-Being向上」をテーマに対象所属を決定
 国際課、創造都市・文化振興課、スポーツ振興課、こども若者政策課、
 子育て支援課、幼保支援課、産業振興課、ウエルネス推進事業本部、教育総務課
 教育施設課、指導課、教育支援課、上下水道総務課



6月3日第1回OASISの様子

講師派遣制度



官民連携プラットフォーム会員が講師となり、市内学校の授業等で講座を開催

市内の小学4～6年生、中学生、高校生

官民連携プラットフォーム会員

※ **13 団体（14 講座）** 11/6時点

- デジタル・スマートシティ浜松について
- 各分野（各団体）の取組紹介



2024年度											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
講師募集											
派遣先募集											
開催											

講師派遣制度

講座開催状況 (令和6年11月6日時点)

No.	開催日	講座名	講師団体	学校名	学年・人数
1	6月14日	産業分野におけるイノベーション創出とDX	リンクウィズ株式会社	静岡大学教育学部附属 浜松中学校	中学2年生104名
2	6月20日	デジタル技術の変革による生活の変化を知ろう (Society4.0から5.0へ)	遠鉄システムサービス 株式会社	浜松市立赤佐小学校	小学4-6年生22名
3	9月24日	ミライの社会を覗いてみよう！	ソフトバンク株式会社	静岡県立天竜高等学校	高校1年生83名
4	12月12日 (予定)	ミライの社会を覗いてみよう！	ソフトバンク株式会社	浜松市立篠原小学校	小学6年生122名



その他（ウェビナーシリーズ）



ウェビナーシリーズ

目 的

各分野の取組を紹介することで **分野間連携** を **促進** する

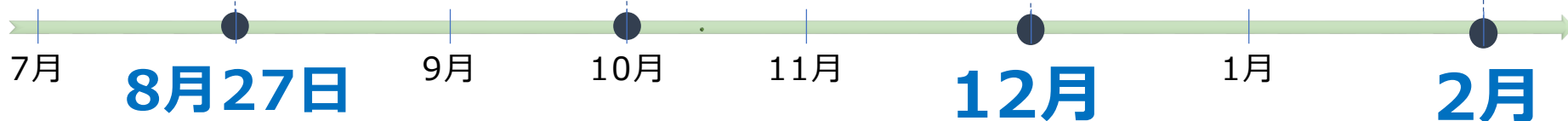
対 象

どなたでも 視聴可能（無料）

スケジュール

第1回

オンラインフォーラム



第1回 デジタルで描く浜松の未来地図 ～教育と共に未来を創る～

83名（市外申込数：**54名**、PF非会員申込数：**75名**）

パネリスト：山形 巧哉（モデレーター）、セッションの講演者

氏名: 山田 太郎
 所属: 工学部 機械工学科
 学号: 123456789

「子どもたちが幸せになる手伝いをする」をモットーに、浜松市内の小・中学校で約30年間教壇に立ち続けている。情動活用能力の育成に關わる実践を積み重ねながら、静岡大学大学院（現観望道）では、「教師の成長」について研究。

研究を重ねるうちにあはれ、教師として成長し続けることができればよい自己研究を重ねる。台湾台北日本人学校勤務時（2015～2018）に多様性の理解を深め、個別最適な学びの必要性を強く実感。現在、小学校5年生の担任。



加藤 啓太
 博士 理学

その他（デジタル技術活用支援事業）



デジタル技術活用支援事業

地域に根差したデジタル技術相談人材を育成し、地域共助型の相談体制を構築

実施内容

- 対象地域：天竜区の4地域（龍山、春野、佐久間、水窪）
- 地域の中でデジタル技術相談人材の候補者を選出し、育成研修を実施
- 地域で定期的なスマホ相談会を開催する中で、育成したデジタル技術相談人材が相談会にサポーターとして参加



各地域の取組状況と令和6年度の取組

水窪	令和4年度に、デジタル技術相談人材の育成および住民向けのスマホ相談会を実施。令和6年度も引き続き、デジタル技術相談人材にサポーターとして参加いただきながらスマホ相談会を開催予定。
春野	令和5年度に、デジタル技術相談人材の育成および住民向けのスマホ相談会を実施。令和6年度も引き続き、デジタル技術相談人材にサポーターとして参加いただきながらスマホ相談会を開催予定。
佐久間	令和5年度に、デジタル技術相談人材の育成および住民向けのスマホ相談会を実施。令和6年度も引き続き、デジタル技術相談人材にサポーターとして参加いただきながらスマホ相談会を開催予定。
龍山	令和6年度から取組を開始予定。

デジタル技術活用支援事業

Digital Smart City HAMAMATSU

講座開催状況 (令和6年11月6日時点) ※水窪・龍山地域は今後開催予定

地域	開催日	相談者数	相談内容
春野	6月26日	5名	・ 電話帳への登録方法（電話帳から・着信履歴から等） ・ LINE の友だち追加方法、グループ LINE の作成方法 ・ 出先から目的地に行くときの方法（Google マップで経路検索） 等
春野	8月23日	2名	・ Wi-Fi の設定方法、使用データ量の確認方法と契約の確認方法 ・ DL した曲の削除方法 スクリーンショット方法 等
春野	10月9日	5名	・ アプリのダウンロード方法、QR コードの読み取り方 ・ ネットショッピング（Amazon）での買い物方法 等
佐久間	7月24日	6名	・ 着信音を変えたい、スマホでとった写真を印刷したい、プリンターの接続方法 ・ タブレットのモバイルデータ通信が切れたときの直し方 等
佐久間	8月20日	5名	・ カメラと動画の使い方、Google カレンダーの使い方 ・ スリープまでの時間の変更、スマホライトのつけ方、マナーモード設定方法 等
佐久間	9月27日	4名	・ アカウントの二段階認証、自分の携帯料金の確認方法 ・ 電卓アプリの使い方



浜松市モビリティサービス推進コンソーシアムの取り組み





浜松市におけるドローン利活用の取り組み

浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム

- ◆ 共同幹事：浜松市、遠州鉄道(株)、スズキ(株)
- ◆ アドバイザリー会員：MONET Technologies(株)
- ◆ 一般会員：市内外から募集
- ◆ 事務局：浜松市（デジタル・スマートシティ推進課）

令和2年4月1日設立
会員数 発足時：66
現在：132



ドローン利活用推進部会

- ◆ 目的
本市におけるドローン利活用の取組を官民連携でより一層推進し、社会実装を目指す。
- ◆ 活動内容
 - ・ ドローン利活用に関する情報交換（国や市場の動向、会員の取組等）
 - ・ 会員による取組や連携促進 等
 - ※年3回程度の開催、Slack等での情報・意見交換
 - ※実装を目指すプロジェクトの可視化

令和5年12月設置
部会員数：35
オブザーバー数：26

デジタルライフライン全国総合整備計画（経済産業省）

- 人口減少が進む中でもデジタルによる恩恵を全国津々浦々に行き渡らせるため策定した約10年の計画
- 共通の仕様と規格に準拠したハード・ソフト・ルールのデジタルライフラインを整備することで、自動運転やAIのイノベーションを急ぎ社会実装し、人手不足などの社会課題を解決

※今年6/5の第1回デジタルライフライン全国総合整備実現会議
で正式に決定

アーリーハーベストプロジェクト

2024年度からの実装に向けた支援策

ドローン航路 180km以上 【送電線】埼玉県秩父地域 【河川】静岡県浜松市(天竜川水系)	自動運転サービス支援道 100km以上 【高速道路】新東名高速道路駿河湾沼津SA～浜松SA間 【一般道】茨城県日立市(大甕駅周辺)	インフラ管理のDX 200km²以上 埼玉県 さいたま市 東京都 八王子市
--	--	---



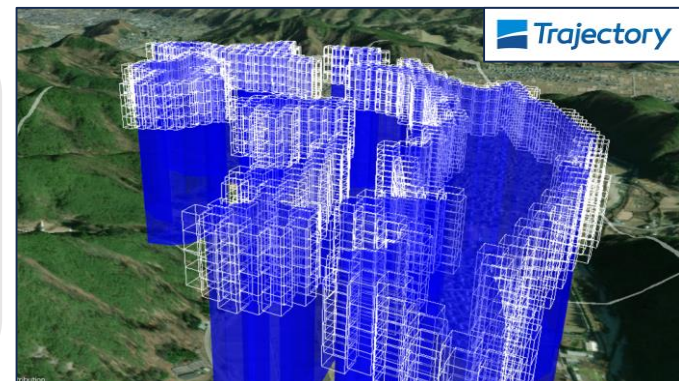
ドローン航路の計画範囲

- ・アーリーハーベストプロジェクトは、デジタルライフラインが最終的に社会実装される将来イメージを具体化するためのもの。
- ・ロールモデルとして先行地域を設定。ドローン航路に関しては、埼玉県秩父市、**浜松市（天竜川水系上空）**の2か所。

ドローン航路とは

ドローン航路の定義

ドローン運航のための社会的理解の醸成が進んだ範囲であり、地上及び上空の制約要因に基づいて立体的に最外縁が画定された運航環境において、航路運航支援及び航路リソース共有を実現するもの



ドローン航路がもたらすメリット

飛行計画や安全管理業務を協調領域としてドローン航路が整備
⇒ 事業者のドローン利用に要する時間的なコスト負担が軽減



ドローン航路の作り方

地上の障害物、車両、人流等を考慮したグランドリスクの評価、電波や気象状況などを考慮したエアリスクの評価を入念に行い空間の安全性を評価



自治体と連携し丁寧な住民説明を実施
ドローンを活用した社会インフラ作りについての社会受容性を醸成





具体的な取り組み

物流

- ・ 医薬品配送
- ・ 物資配送（BtoB・C）

災害対応

- ・ 災害状況把握
- ・ 医薬品、物資配送

インフラ点検

- ・ 河川の巡視
- ・ 河川や橋等の点検

- ・ 平時にドローン航路を構築、利用することで災害時も速やかに対応
- ・ 人口減少下において協調領域を構築することで生活サービスを維持
- ・ ドローンやAI等の活用によりインフラ管理を効率化、高度化



水窪: 千寿会

佐久間: 佐久間病院

春野: 光久会

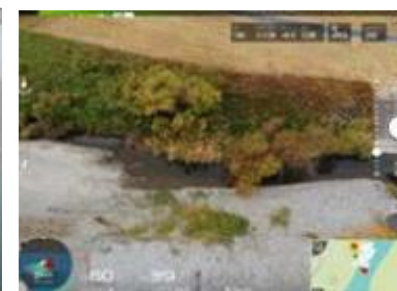
二俣: 天竜厚生会

阿多古: あたご診療所

×



撮影データ利活用



河川巡視



緊急的状況把握



更なるユースケース創出に向けて

Digital Smart City HAMAMATSU

セミナー（10/23開催）

- 開催日時：2024年10月23日(水) 15:00-16:30
- 会場：FUSE ※Zoom配信有 参加無料
(静岡県浜松市中央区鍛冶町100-1 ザザシティ浜松中央館B1F)
- 主催：浜松市、浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム
- プログラム

【基調講演】

「2050年ドローン・エアモビリティ前提の社会と、浜松市の立ち位置」
DRONE FUND(株) 共同創業者/代表パートナー 大前創希氏

【講演】

- ① アラセ・アイザワ・エアロスパリアル(合)
- ② (株)トラジェクトリー
- ③ HMK Nexus (株)

【パネルディスカッション】

大前氏、鈴木氏、小関氏、内田氏 ※ファシリテーター 浜松市フェロー東氏



講演者：DRONE FUND(株)
共同創業者/代表パートナー 大前創希氏



会場の様子（会場44名、オンライン82名参加）

ワークショップ（11/21開催）

主催：浜松市、浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム

～ドローン航路を活用したサービス創出に向けて～

ドローン×モビリティ ワークショップ

2024
11/21 木
13:30～17:00

会場
浜松市
地域情報センター

参加
無料

詳細・申込は
こちらから



セミナーの続き企画として、
具体的なサービスを創出するための
ワークショップを開催

対象

- ・コンソーシアム会員
- ・コンソーシアム入会を検討する団体

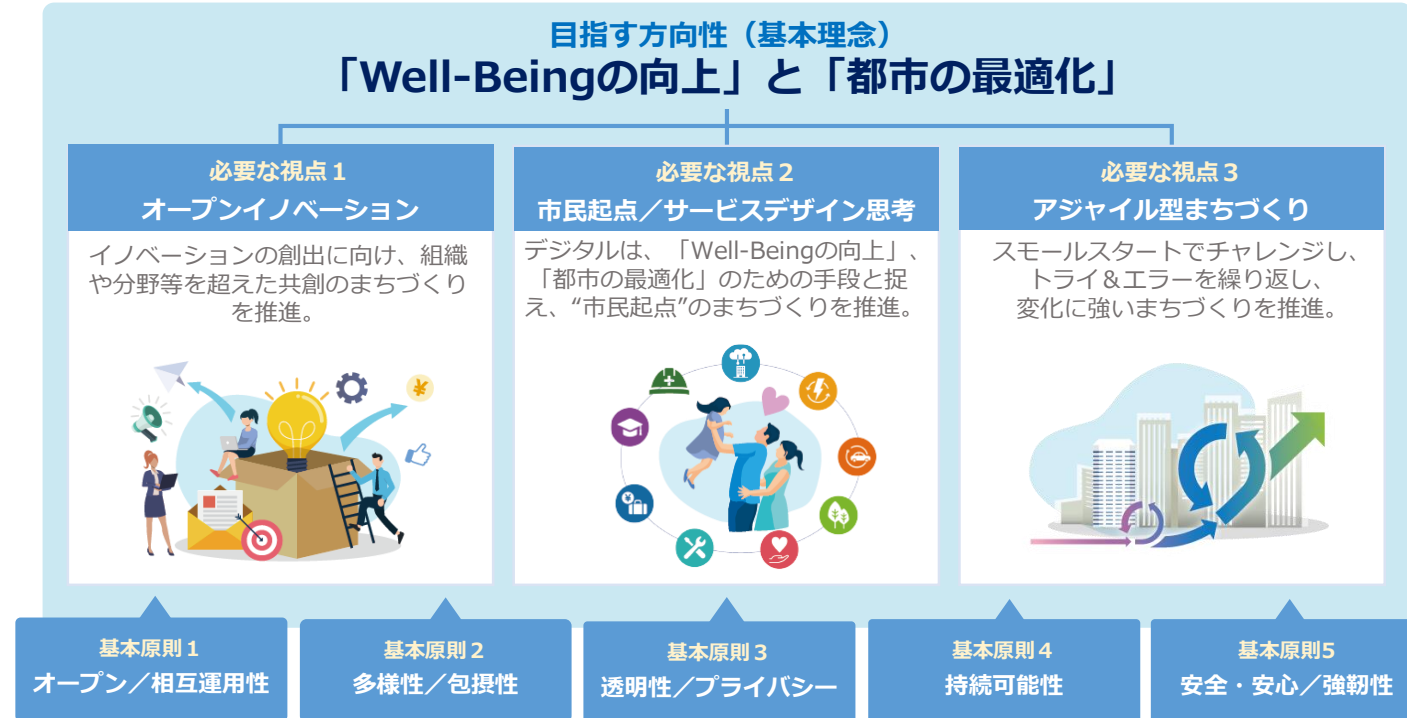
浜松市デジタル・スマートシティ構想の改定



将来像

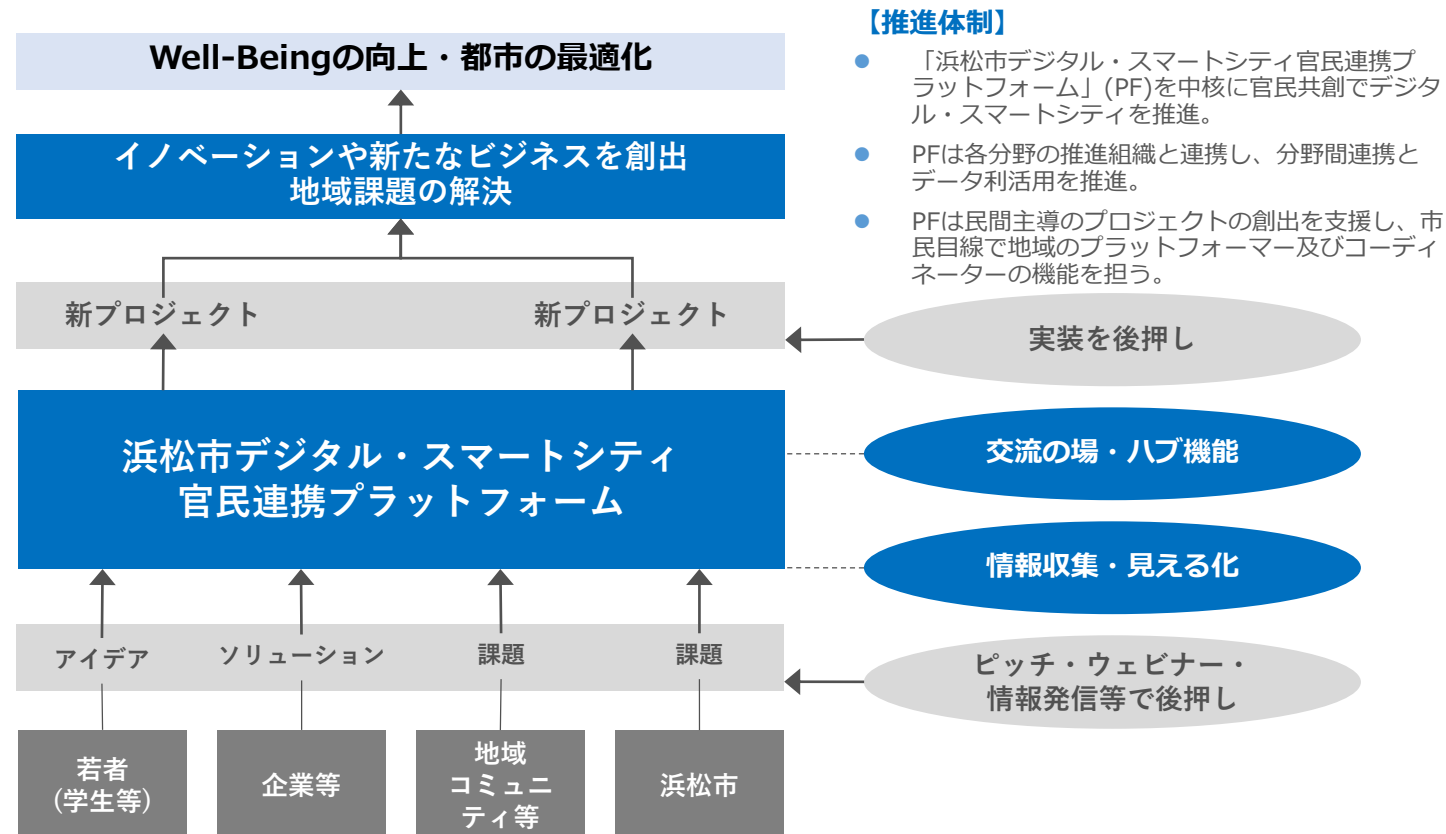
～ デジタルで“繋がる未来”を共創 ～

人口減少・少子高齢化やインフラ老朽化や自然災害への備えなど課題がある中、デジタルの力を最大限に活用し、「Well-Beingの向上」と「都市の最適化」を目指し、デジタルで“繋がる未来”を官民で共創します。



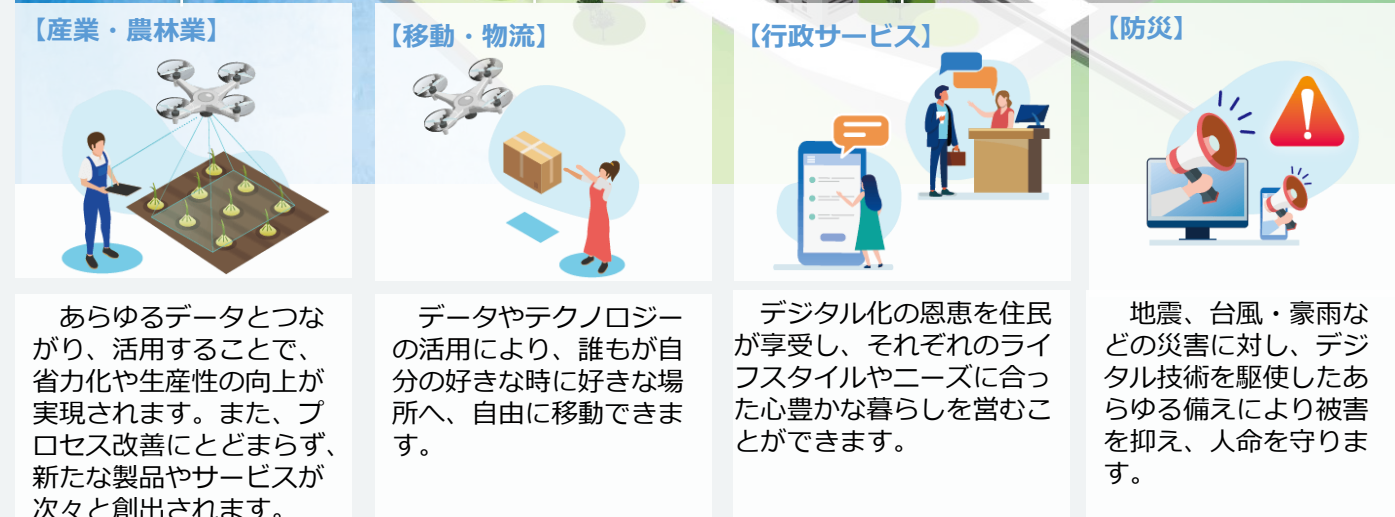
推進体制

「浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム」を中核に、官民共創によるまちづくりで、「イノベーションや新たなビジネスを創出」と「地域課題の解決」を推進します。



デジタルで“繋がる未来”の概観

デジタルの力を最大限に活用し、「課題解決型のアプローチ」と「未来に夢と希望を持てるチャレンジ」を組み合わせることで、ヒト・モノ・コトを繋ぎ、“繋がる未来”を創造します。



第二期（2025年度～2029年度）における重点取組分野

A Iをはじめとしたデジタルの力を最大限に活用し、官民共創で、デジタル・スマートシティ浜松の『進展』を目指します。

①人と人・心と心をデジタルで紡ぐ （Connected-City）

多様性・包摂性

- 次代を担う若者世代の巻き込み
- 関係人口の拡大や多拠点居住の促進
- オンラインプラットフォームを活用したこども・若者等への意見聴取
- 市政情報等のオープンデータ化の促進
- オープンデータプラットフォーム（ODPF）の拡充と利活用
- デジタル活用による移住の促進

観光

- デジタルマーケティングの活用による観光資源の情報発信
- ビッグデータを活用した観光マーケティングの推進
- モビリティによる観光や地域特産品との連携

②あなたの挑戦がまちをアップグレード （Challenging-City）

産業（ものづくり・農林水産業）

- スタートアップと地域企業との連携プラットフォームによるオープンイノベーションの推進
- 中小企業の生産性向上に向けたDX推進・イノベーション創出
- ICT企業誘致による地域産業のDX推進
- ロボット技術やICTなどの先端技術を活用したスマート農林水産業の推進
- 高校生等を対象としたデジタル人材育成の推進
- デジタル分野におけるリカレント・リスキリングの強化

音楽文化・エンターテインメント

- デジタル技術を活用した文化事業の実施
- インターネットを活用した音楽文化等の発信と多国間プログラムの推進
- エンターテインメントの新たな楽しみ方の創出と普及

③ハード（強さ）とソフト（やさしさ） の共生で未来を守る （Resilient-City）

災害レジリエンス

- 災害予測や災害状況の効果的な把握
- 災害関連情報の効果的な提供
- ドローンやセンサー等の活用によるインフラの老朽化対策
- データ連携基盤との連携による避難者数や道路通行データなどの収集及び提供など、防災分野のデータ流通促進
- LTE網を活用する次期防災情報共有システムの導入と不感地帯へのインフラ検討
- 都市情報のデジタル化・オープンデータ化と利活用の推進

カーボンニュートラル・脱炭素

- デジタル技術等を活用した脱炭素経営や脱炭素型ライフスタイルの推進
- ZEHやZEBなど、エネルギーマネジメントシステムの導入推進
- GX・グリーン×デジタルによる脱炭素関連技術等の創出・イノベーションの推進
- FSC認証に基づく森林整備や木材生産
- FSC認証林におけるカーボנקレジットの創出

モビリティ

- 医療サービスとモビリティの連携促進（巡回診療、遠隔診療・服薬指導、医薬品配送など）
- 天竜川水系ドローン航路の利活用促進
- 自動運転技術を活用したモビリティサービスの推進
- 移動データ等の利活用による地域課題の解決
- 交通利用に関わる省エネルギー化
- 有事を見据えたモビリティのサービス・デザイン

④データが導く暮らしやすさ （Liveable-City）

ウェルネス・医療・福祉

- 「予防・健康都市浜松」実現に向けた官民連携
- 健康情報を活用した生活習慣病等の予防・改善
- ヘルステックに関する情報発信・実証事業を通じたヘルスケア産業の創出
- 浜松市公式ヘルスケアアプリ「はままつ健康クラブ」を活用した市民の行動変容
- スポーツ分野におけるニーズとシーズを繋ぐプラットフォーム構築（「する」「みる」「ささえる」の相乗効果創出）
- オンライン活用によるスポーツ指導の機会拡大
- 従来のスポーツからeスポーツ等の新しいスポーツまで、誰もが一緒に楽しめる多様なスポーツの普及と認知度向上

教育・子育て

- ICT等を活用した子どもや子育て世代への効果的な情報提供や相談体制の構築
- 教育DXの推進と教育データの利活用の施策横断的な実施
- デジタルツールを活用した個別最適・協働的な学びの体系的な充実
- 教育データ利活用による子供一人一人に応じた学びやきめ細かい支援の充実

デジタル・ガバメント

- 医療・福祉・子育てサービスのデジタル連携促進
- フロントヤード改革（市民と自治体との接点の多様化・充実化）の推進
- 庁内データ分析基盤活用等によるデータに基づく課題解決の推進
- デジタルを活用した業務改革の推進
- デジタル変革人材（DXコアメンバー及びDXメンター）の育成

目指す方向性
（基本理念）

Well-Beingの向上

都市の最適化

意見交換



テーマ：構想第2期に向けた「プラットフォームの活性化」と「分野間連携の促進」

PFに期待する活動や要望（運営委員・会員企業アンケート）



1. イベントと交流の継続・拡大

- ・ ソリューションピッチ&ミートアップの継続要望
- ・ 企業間の共創機会の創出
- ・ 自治体と企業の交流機会の創出

2. 連携の強化・拡大

- ・ 市の各部署間の連携強化（縦割り組織の解消）
- ・ 各課の代表者が参加する会議体の設置と連携枠予算の確保
- ・ 市役所以外の組織（商工会議所、社会福祉協議会など）との連携
- ・ 包括連携協定を結んでいる企業グループとの総合的な連携

3. 若い世代の参画

- ・ 高校生など若い世代への取り組みの紹介
- ・ 学校との連携

4. 情報発信と可視化

- ・ 活動実績の具体的な発信
- ・ 取り組みの見える化

5. 支援と補助金

- ・ 浜松発の取り組みへの積極的な補助金交付
- ・ 「試そう！浜松産アプリ！やрмаいか！100万円！」のような具体的な支援案

6. 特定分野での取り組み強化

- ・ 中山間地域のデジタルインフラ整備
- ・ 防災分野でのデータ連携とアプリケーション開発
- ・ 再生可能エネルギーの効率的活用（エネルギーマネジメント）
- ・ 音楽振興とNFT活用

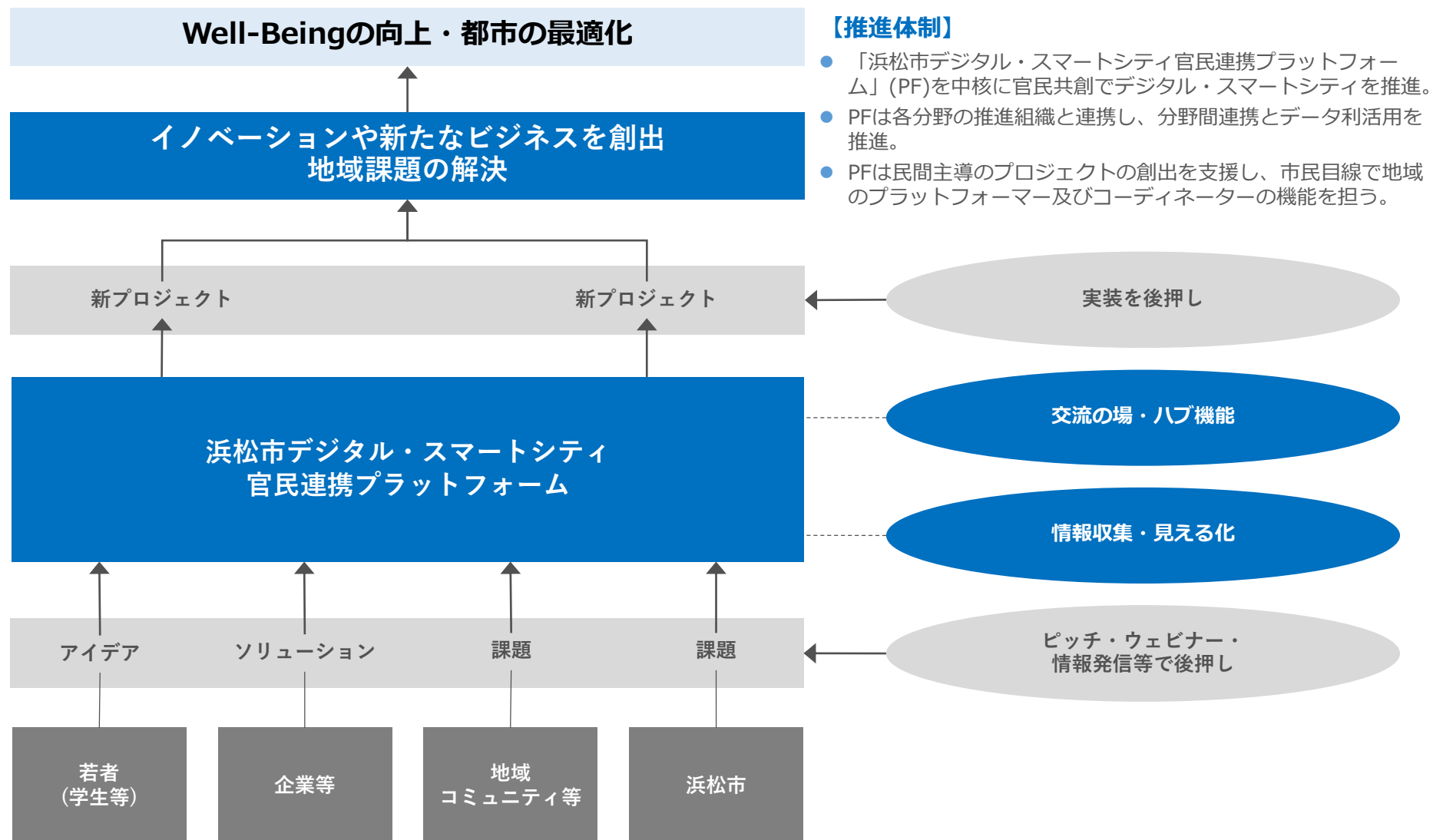
7. 積極的な参画意欲

- ・ 運営委員や参画企業としての積極的な貢献意思
- ・ 協力できる取り組みへの参画意欲



構想第2期の推進体制（案）

「浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム」を中核に、官民共創によるまちづくりで、「イノベーションや新たなビジネスを創出」と「地域課題の解決」を推進します。





構想第2期の核となる活動（案）

1. 「アイデア」「ソリューション」「課題」の包括的収集

- ・ 企業、若者、地域コミュニティ、行政各部署等から幅広く情報を集める
- ・ 各分野と連携し、地域の課題を包括的に収集
- ・ オンラインプラットフォームやピッチなど、多様な収集方法を活用

2. 収集した「アイデア」「ソリューション」「課題」の可視化と整理

- ・ 集められた情報を体系的に分類・整理
- ・ データベース化やビジュアル化ツールを使用し、情報を分かりやすく公開
- ・ 関連性のある情報をグルーピングし、潜在的な連携機会を明確化

3. 交流機会の創出（ピッチ&ミートアップイベント等）

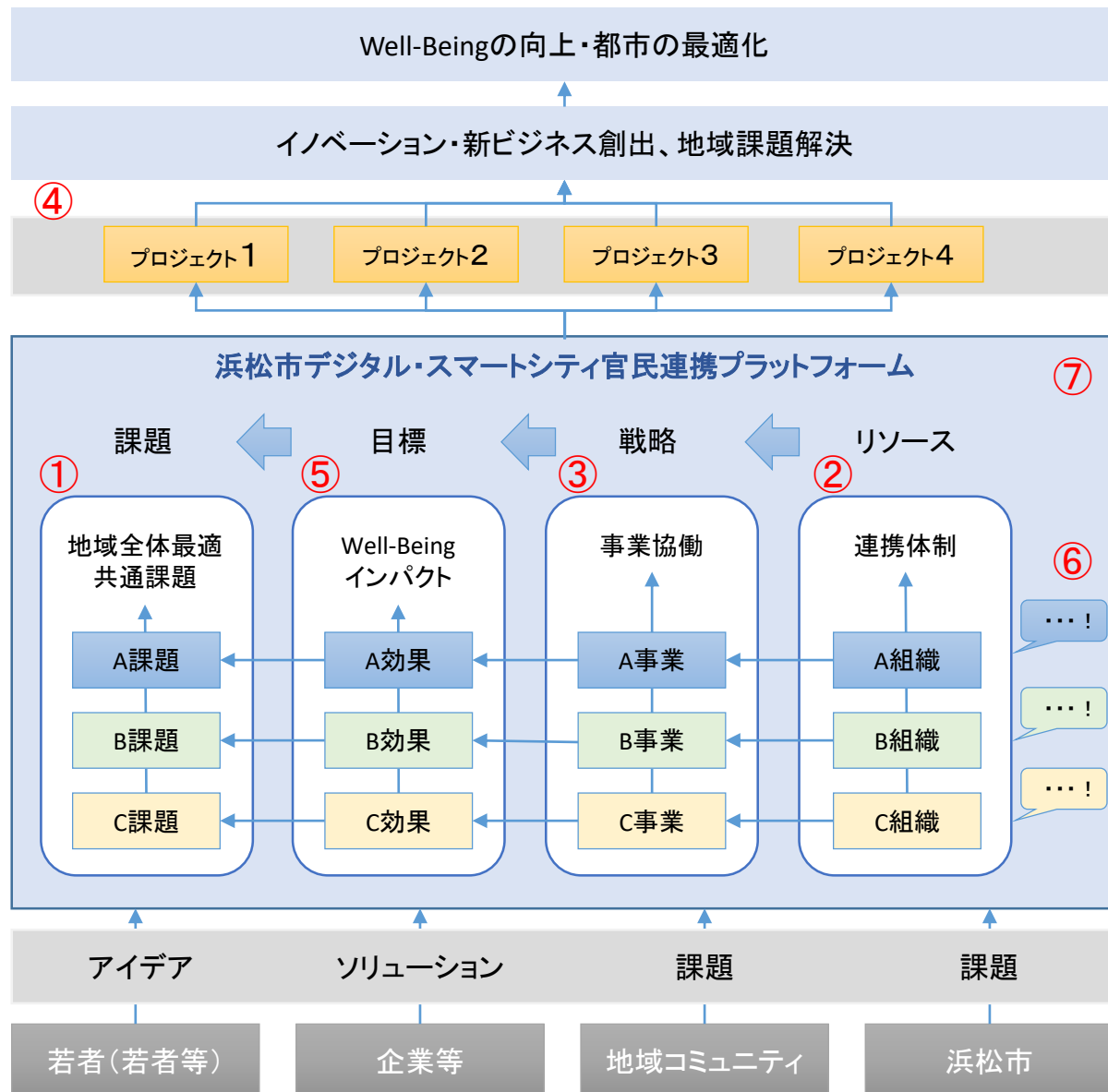
- ・ 定期的なネットワーキングイベントの開催
- ・ ピッチやウェビナーによる新しいアイデアの共有
- ・ 分野横断的な交流を促進し、異なる専門性を持つ参加者間の対話を促進

4. プラットフォームの活動の効果的な発信

- ・ プラットフォームの活動や成果を分かりやすく発信
- ・ 成功事例や進行中のプロジェクトの見える化
- ・ ウェブサイト、SNS、ウェビナーなど多様なチャネルを活用

分野間連携・事業者間連携の促進に向けて

2024/11/15 浜松いわた信用金庫



- ① 委員・会員それぞれの組織個々の経営課題・事業課題の共有・相互理解
- ② それぞれのリソース、ソリューション、アイデア等の共有・相互利用
- ③ それぞれの事業の相乗効果、相互補完
- ④ 新プロジェクト・新ビジネスの創出
- ⑤ 地域課題・共通課題に対するインパクト創出
- ⑥ これらの取組み(ストーリー)をそれぞれの主体が情報発信
- ⑦ 分野間連携の促進、プラットフォームの活性化

地域課題解決に向けたプロジェクト
(金庫の経営課題・事業課題に直結)

- 浜松いわた信用金庫では...
- 少子化への対応、子育て支援への協働(地域課題・共通課題)
 - FUSE(イノベーションハブ)の機能・サイト活用によるアイデア収集、プロジェクト創出
 - Web、アプリ等のチャネル活用によるプラットフォーム活動の発信強化
 - 提携先・出向者等ネットワーク活用
 - その他